



第63号
9月定例会
平成25年10月18日

こんにちは

豊丘村議会 です

躍 動

小学校運動会

9月定例会のようす1~2
決算・予算委員会質疑から3~6
10人が一般質問7~17
リニア・総務産建・社会文教委員会18~20

発行／長野県豊丘村議会
編集／議会だより編集委員会
印刷／龍共印刷(株)

〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp

豊丘村議会

検索

24年度決算認定される 実質収支額5億2,500万円余

財政状況 引き続き安定

第3回定例会

平成25年第3回定例会は、9月3日から25日までの23日間の会期で行われました。

開会日に発議1件が即決された他、補正予算案5件、24年度決算認定6件はそれぞれ予算委員会及び決算委員会へ付託されました。

他に、工事請負契約（河野農集排機能強化事業増土工分）の締結議案と教育委員会委員の人事案件が即決されました。

又、最終日の25日には一般会計補正予算1件、工事請負契約（林道大島虹川線坂島トンネル補強工事）の締結議案、損害賠償額の決定専決処分承認1件及び議員発議（政府、国会への意見書提出）2件が提案され、開会日に委員会付託された案件も含め、全て可決承認されました。

なお、今定例会には請願、陳情はありませんでした。

一般質問は、10名が村政全般について質問を行いました。

24年度決算の概要

■決算指標からみた豊丘村の財政状況

実質収支額が、23年度より1億1千万円余少ないが、減債基金（貯金）へ2億円積立てたこともあり、ここ数年間続いている余裕ある財政状況と言えます。

又、財政健全化法による健全化判断比率においては、実質公債費比率及び将来負担比率とも一層改善が進んでいます。（詳しい数値は村広報10月号4～5Pを御覧下さい。）

■24年度の主要な事業は

◎防災行政無線デジタル化事業…3億7596万円
23年度よりの繰越明許となっていた本事業の実施によって、老朽化している防災無線システムがリニューアル、グレードアップしました。

◎有害鳥獣対策防護柵設置事業…1億904万円
既に設置済みの南部地区に続いて、村中央～北地区（河野）に20km余設置し、全地区にわたって防護柵が張られました。

◎市田柿ブランド維持対策事業…452万円
柿の重要病害である円星落葉病の伝染源となっている放任樹を伐採することによって、市田柿生産の向上に役立てようとするものです。伐採本数は、3030本です。

◎社会教育施設整備事業

老朽化している総合福祉センターに替わる社会教育施設（まちづくり交流センター）が着工となりました。24年度では、実施設計委託（3千156万円）と用地の購入（875万円）です。

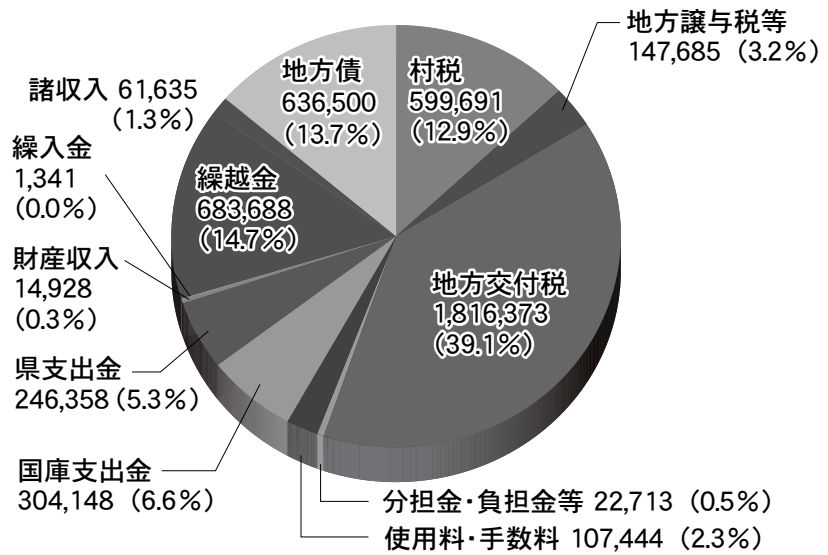
今年度で建物が建設され、来年4月よりオープンとなる予定です。



平成24年度一般会計歳入歳出決算額

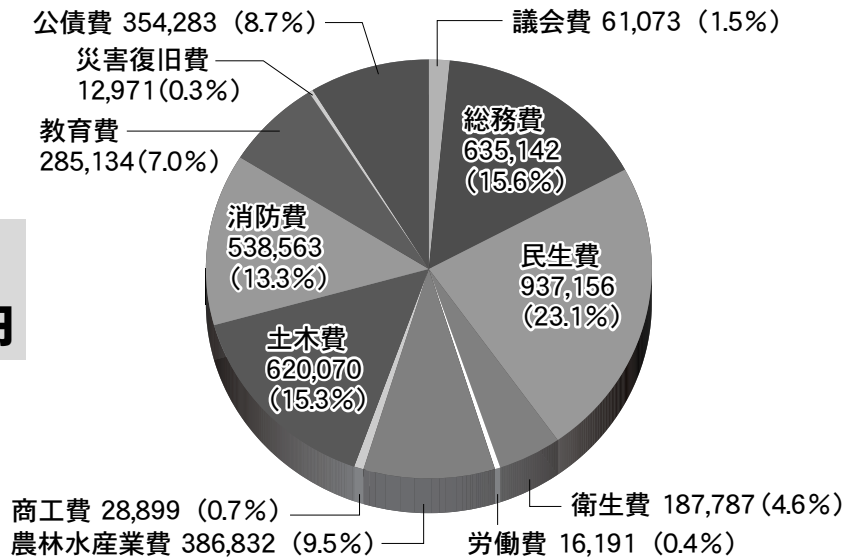
歳入 (単位:千円)

歳入総額
46億4,250万円



歳出 (単位:千円)

歳出総額
40億6,410万円



平成24年度 各会計の決算

会計区分	決算額	対前年比	
		増減額	増減率
一般会計	歳入	4,642,504	484,331 11.6
	歳出	4,064,101	589,616 17.0
特別会計	国民健康保険	歳入	541,250 13,606 2.6
		歳出	516,800 14,854 3.0
	後期高齢者医療	歳入	65,016 3,071 5.0
		歳出	64,928 2,992 4.8
	介護保険	歳入	767,390 ▲ 9,921 ▲ 1.3
		歳出	761,239 ▲ 6,966 ▲ 0.9
	簡易水道	歳入	272,731 ▲ 15,516 ▲ 5.4
		歳出	247,894 ▲ 27,271 ▲ 9.9
	下水道事業	歳入	368,696 18,257 5.2
		歳出	357,661 13,067 3.8
	小計	歳入	2,015,083 9,497 0.5
		歳出	1,948,522 ▲ 3,324 ▲ 0.2
	合計	歳入	6,657,587 493,828 8.0
		歳出	6,012,623 586,292 10.8

25年度一般会計補正予算 国庫補助金の二重計上減額で 例年並みの予算規模に

1 一般会計補正第4号

・補正額

6億7296万円の減額

・総額

42億7160万円

歳入は

決算の確定による前年度繰越金2億5929万円の追加で、繰越額は5億2571万円です。

地方交付税は、普通交付分確定による8526万円の追加で、計16億526万円となります。

減額が多額となったのは、社会教育施設及び村営住宅建設に係る国庫補助金が、24年度補正予算第6号との二重計上となったものを減額するものです。

又、同様の理由による財政調整基金繰入金と公施設整備基金繰入金を減額するものです。

歳出の主なもの

◎地下水及び表流水の調査委託料：2百万円

リニア中央新幹線のトンネル工事による地下水及び小河川への影響を調査委託するものです。

◎北部共同火葬場負担金：3874万円

本年度の工事費に対する豊丘村の負担金です。

◎肺炎球菌予防接種助成金：35万円

75歳以上の高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種費用を、約半額(3500円)助成するものです。なお、吉川医院、小沢医院、下伊那厚生病院では補助金を差引いての支払い、他の医療機関では、いったん全額を支払う必要があります。

◎松くい虫防除対策費：460万円

当初予算で、500㎡の伐倒くん蒸を予算化していましたが、被害が拡大しているので250㎡分を増額するものです。

◎公用車購入費：330万円

現在所有しているハイブリッド車を、8人乗りのミニバンに買い替えるものです。

2 一般会計補正第5号

・補正額

2013万円

・総額

42億9173万円

9月16日の台風18号による大雨で被害のあった村道、林道、耕地について、グレーダー借上げ料及び災害復旧費に係るものです。



増えつつある松枯れ被害

補正予算の質疑から

リニア工事の水枯れ対策の内容は

リニアの水枯れ対策の内容は

|| 2000万円です地下水調査等を行う ||

前沢議員 企画費のリニア関連委託料2000万円の内容は。

総務課長 地下水は100万円の予算で、水枯れの心配がある地域の利用状況を検討して、水量や簡易水質調査を行い台帳を作る。河川などの表流水は1000万円の予算で、影響が予測される河川の水質の調査を2回行うための予算。

吉川議員 山梨県笛吹市の視察では、トンネルの上はほとんどが枯れてしまった。その教訓からJR東海と事前に協定書を結ぶことが必要だ。

川野議員 肺炎球菌予防接種の補助金17万5千円の補助対象者と内容は。

住民課長 初めての補助制度。75歳以上の高

齢者に対し、費用の半額に当たる3500円を補助する。1回の接種で5年間は効果がある。

酒井議員 松くい虫対策に460万円を計上しているが、被害状況と対策内容は。

産業建設課長 当初予算で計上した分はすでに実施した。被害が予想以上に広がっており、追加で250㎡を伐倒くん蒸したい。

の平塚からの移住者は決まったか。村長 まだ決まっていない。移住となると社員個々の一生に亘る問題なので、何回も面接するなど慎重に行っている。



建築が進む戸建て住宅（中部三）

戸建て賃貸住宅の変更内容は

|| 発掘調査のため16戸に変更 ||

松下議員 戸建て賃貸住宅の建設計画が、地蔵道の埋蔵文化財の関係で変更になったが、その内容は。総務課長 地蔵道は発

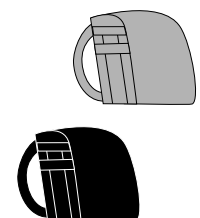
掘調査のため次年度とし、替わりに八王子の旧ミヤマプロイラー跡地に7戸、前から計画している八王子に3戸、中部三に3戸、大柏に3戸の計16戸を本年度に建設する。

川野議員 ランドセル購入補助金の追加理由は。

ランドセル購入助成金の追加理由は

原議員 奨学貸付金192万円の補正内容は。また、中学生の輝丘議会で提案があった「卒業後に帰村したら返却しなくてよい」という制度は設けないか。

教委事務局長 今回、不足の3名分を計上した。「帰村したら返さなくてもよい」制度は、その基準など難しい点があり考えていない。



の質疑から の経営は大丈夫か

ふるさと納税の納付状況は

|| 221人から555万円 ||

大原議員 ふるさと納税は年々増えているのか。

また、謝礼はどうしているか。

総務課長 昨年は221人から555万円いただいた。お陰様で年々増加している。謝礼は、寄付金額の3割相当の農産物等をお送りしている。10万円以上は、3万円相当の品と松茸を送っている。

唐澤議員 自らつくる地域事業交付金の選定委員会のメンバーは。また、補助率の設定基準は。

総務課長 村は村長以下4名と、公民館長、NPO法人だいち理事長、社会福祉協議会長、区長会OB代表1名の合計8名。

採択基準と補助率は、事業内容について

公益性や住民の参加状況など総合判断して決めている。



宅老所「どんつく」(庭木の奥に建物)

広報とよおかの紙面充実策は

|| 日頃から努力している ||

松下議員 毎月発行している「広報とよおか」の紙面充実策は。また、作成経費節減のため原稿はデジタルデー

総務課長 日頃から、読んでもらえる紙面となるよう努力を重ねて

いる。データによる原稿は、すでに3年前から行っている。

片桐(真)議員 だんQくんグッズの販売店と種類は。

総務課長 役場・だいちなど村内の店で販売している。現在は2種類だが、好評なので種

宅老所「どんつく」の状況は

|| 利用者少ない。早急に対策執る ||

酒井議員 地蔵道に開設した宅老所「どんつく」の運営状況はどうか。

住民課長 昨年度に県と村で750万円の補助で始めたが、利用者が少なく苦戦している。地域包括センターで支援しているが、基本は法人自らの企業努力が大切。

片桐(秀)議員 財政的に持つか心配だ。補助金を出した以上、一緒になって利用者確保に協力すべきだ。

類も増やしていきたい。松下議員 村長としゃべらまい会が好評と聞くが、その結果について議会に報告がない。作成して配布しないか。

村長 まとめて報告ができるよう準備をした

24年度決算 宅老所「どんつく」

シルバー人材への委託状況は

⇨ 水道検針他15業務で760万円 ⇨

川野議員 シルバー人材センターへの村の委託事業は。また、役場南にある公衆トイレの掃除はやっているか。
 総務課長 昨年度は水道検針他15業務で、総額760万円を委託した。公衆トイレの清掃は、休日を除き毎日行っている。
 前沢議員 脳血管障害の早期発見のため「脳ドック」への助成を考

えないか。
 住民課長 費用が高額でもあり、やっていない。今後、他町村の動きなどをみて考えたい。
 唐澤議員 市田柿ブランド維持対策で、76万円ほどかけたが効果はどうか。
 産業建設課長 3千本ほど伐採した。落葉病が発生するかどうか、効果の有無は今後、見定める必要がある。

田村の村営駐車場はどうするか

⇨ 現状では存続の説明できない ⇨

唐澤議員 小松理容院前の村営駐車場は、今後はどうするか。
 村長 田村商栄会の現状からは存続は説明つかない。契約期限は来年末だが、再契約は考えていない。7人の個人利用者があり、今後

よく検討するが、最悪も想定を。
 前沢議員 児童生徒の就学援助費と特別支援教育奨励費の受給者数は。
 教委事務局長 就学援助費は、南小8人、北小2人、中学12人。特別就学奨励費は、南小12人、北小7人の19人。

中学校体育館の吊天井どうするか

⇨ 補助制度の行方をみて検討する ⇨

酒井議員 中学校体育館の吊天井は落下の危険性がある。改修予定は。また、村民体育館のトレーニング機器は、長年放置状態だがどうするか。

教委事務局長 吊天井は、地震対策補助制度の行方をみながら今後検討する。トレーニング機器は指摘のとおり状態。撤去の方向で検討する。



存続が課題の村営田村駐車場

唐澤議員 村税の差押え収入額はいくらか。
 税務会計課長 差押えは預金など7件行い、55万円が納入になった。片桐(秀)議員 滞納処分は難解な法律知識が必要。職員はよくやっている。

川野議員 経常収支比率が73・3と前年比1・7ポイント上昇した。原因と、この数字をどうみるか。
 総務課長 嘱託職員の増などが反映された。この数値は特に高くなく、問題ないと考えている。

☆特別会計は紙面の都合で割愛します。
 ☆議員の意思表示一覧は、全議案について全議員賛成のため今回は割愛しました。

一般質問

村政を問う

ズバリ
直言

10議員が質問

- 1番 川野 孝子** 議員 (8ページ)
- ・特養の入所判定等について
 - ・南相馬市との交流について
- 2番 吉川 明博** 議員 (9ページ)
- ・リニア中央新幹線に関連して
- 3番 片桐 秀人** 議員 (10ページ)
- ・肺炎球菌ワクチン予防接種の実施について
 - ・「はつらつ」の利用者減少について
- 4番 大原千賀子** 議員 (11ページ)
- ・子どもたちの勤労体験キャリア教育と地域のつながりについて
 - ・日赤奉仕団について
- 5番 酒井 浩文** 議員 (12ページ)
- ・社会教育施設の管理・運営方法について
 - ・現図書館の後利用方法と今後の展開について
- 6番 井原 康明** 議員 (13ページ)
- ・「介護予防拠点施設はつらつ」の今後の位置づけは
 - ・「豊丘村愛のかけはし事業要綱」の見直しについて
- 7番 片桐真理子** 議員 (14ページ)
- ・猛暑対策について
 - ・土曜日を活用した授業について
- 8番 前沢 光昭** 議員 (15ページ)
- ・子どもの食物アレルギー対策について
 - ・大人の風疹予防対策について
- 9番 唐澤 啓六** 議員 (16ページ)
- ・社会保障制度改革国民会議報告書への見解は
 - ・国保税課税方式の改善を
- 10番 松下 亨** 議員 (17ページ)
- ・リニア時代を見据えた村づくりについて

特養の入所判定はどうするのか

答 はやしの杜と協議し基準を確定する

川野孝子議員



建設が進む小規模特養

質問 豊丘村の65才以上の高齢者独居世帯は177。2人以上の世帯243、合わせて420世帯と聞いている。高齢者訪問はどのように行っているのか。
住民課長 安否確認と健康状態の確認を主に訪問を行っている。24年度は207世帯の訪問を行った。

質問 1年に1回訪問できない状況をどう思えるか。
村長 年に1回は訪問できる体制は必要と考える。
質問 社会福祉法人「林の杜」で建設が進められている特養も、平成26年4月開所予定と聞くが、入所の判定基準はどうするのか。

村長 内部で優先入所基準の作成を進めている。9月末に「林の杜」と協議をし確定していきたい。入所の申し込み受付の開始は12月頃と考えている。入所基準の公平性と透明性が大事ではないかと考えている。
質問 現在の待機者は何人か。
村長 現在21名であるが、申し込み開始にあたって新たな申し込み者があると考える。

質問 厚生労働省は、2015年から特養の入所基準を要介護3以上と法整備をするというが。
住民課長 来年4月の開所の時点では、要介護1・2の人も入所できると考えている。

南相馬市との交流について

答 更に深めていきたい



復興に向けてできることは
(南相馬市の被災状況)

質問 4月26・27日、議員の自主研修で南相馬市の現状を視察した。
村長 細くても長いお付き合いをしていくことが大事と考える。今年の豊丘まつり協賛の経営者協議会で行う講演会に、南相馬市の桜井市長をお願いすることができた。これを機にお付き合いを深めていきたい。

質問 馬市の現状を視察した。
村長 馬市の現状を視察した。戻る家も土地もない人たちが、仮設住宅で元気な笑顔を見せてくれた。感動した。
豊丘まつり実行委員会 豊丘まつり実行委員会を中心に里山汁の炊き出しボランティアが3回も続いているが、この活動に頼るだけで

リニア対策専門職員の配置時期は

答 遅くならないタイミングで配置する



吉川明博議員

質問 村長のリニア関連申請の回答について、

町村に協力を願ひ、協定書等がどのようなものか見ておく必要があるが、どのように考えるか。

6月議会にて村民の請願の答えの文章に、村が笛吹市現地視察を計画しない、との答えの理由として「工事は既に終わっている」という文言があるが、どのようにして現地の工事の現状把握し、工事が完成しているとしたか。

村長 笛吹市と大月市担当者から、工事に対して反省点や工事実施の際のアドバイスを、実務者レベルで日程を調整中である。

リニア対策室長 今年4月25日に役場職員数名による山梨県笛吹市土木部へのリニアに関する視察を行い、笛吹市担当者から本線工事は概ね終了し、8月の走行試験に向け最終工事を行っているとの話をもとに答弁をした。

質問 村長はリニア対策室に専門職員を来春頃配置するとしているが、現時点では時期をどのように考えるか。

要望 リニアの請願は増えてくる。リニア関連の請願のみならず、誠実な対応を願う。

質問 リニア新幹線車両L0系走行実験をしている最中に、環境影響評価準備書を発表することに矛盾があることを指摘する。現在の

先行試験に向け最終工事をしていくとの話を

村長 9月20日からリニアの準備書の縦覧が始まる。何が問題になって、どういう対応が必要なのかというところが具体的に becoming くる中で、遅くならないタイミングで配置を計る。

質問 9月18日に準備書が公表される。すでに工事を進めてきた笛吹市又は大月市など、先に経験をして来た市

質問 リニア新幹線車両L0系走行実験をして

町村に協力を願ひ、協定書等がどのようなものか見ておく必要があるが、どのように考えるか。

村長 国やることであるので、信頼するしかないと思う。

要望 リニアの請願は増えてくる。リニア関連の請願のみならず、誠実な対応を願う。

質問 リニア新幹線車両L0系走行実験をして

町村に協力を願ひ、協定書等がどのようなものか見ておく必要があるが、どのように考えるか。

村長 国やることであるので、信頼するしかないと思う。

要望 リニアの請願は増えてくる。リニア関連の請願のみならず、誠実な対応を願う。

質問 リニア新幹線車両L0系走行実験をして

町村に協力を願ひ、協定書等がどのようなものか見ておく必要があるが、どのように考えるか。

村長 国やることであるので、信頼するしかないと思う。

実験線は、走行線路が一つであり、時速500kmでのすれ違いによる実験はできてなく、衝撃波が出るか分かっていない。

リニアL0系走行実験を環境アセスメントと同時に進めることに矛盾と問題を感じるが、村長はどのように感じるか。

村長 国やることであるので、信頼するしかないと思う。

要望 今までの鉄道工事の中で、問題点が発覚して着工が遅れたとか、工事を止めたという事例が全国にいくつもある。工事を進めないと分らないが、それに対応するため備えは行政でするしかない。私ども住民には意見を言うこともできないと思う。これは今後の工事期間中、完成後の運営中に大きく影響すると思われる。工事初期から村の環境を守られない、環境劣化を受け入れるということになる。今後、村が対応する諸問題を解決していくために、JR東海への対応については、慎重に、かつ村民の皆様のご意見を詳細にお聞きし、JRに訴えて頂きたい。



山梨県笛吹市黒駒地先リニア高架下32m H25.8.29
(豊丘村でリニア中央新幹線を考える村民の会による視察にて)

「はつらつ」の利用者減の対策は

答 メニューの検討をはじめたところ

片桐秀人議員



増加する地域ミニデイ参加者

質問 6月に続いて村の介護予防施策について伺う。はつらつの利用者は昨年505人減少した。今年度もさらに減少を続けている。この状況では今年度は1900人を割り込むだろうと予測される。委託を受けている社協も経営していけなくな

ると考えられるが。**住民課長** 現在、原因について検討をはじめたところ。月1回、住民課、包括支援センター、社協と定例協議をする中で、はつらつのメニューの変更を検討している。具体的には昨年はじめた地域ミニデイサービスとの役

割分担を検討している。はつらつはハイリスク者への介護予防3ヶ月プログラムや、個別プログラムの策定及び、現在の5時間を個別に短時間にする。ミニデイとの役割分担などのメニューの検討を始めたところである。**質問** 介護予防ステップアップ元年がこういう結果だったことについて、村長の考えは。**村長** はつらつの人数が減ったから機能しなかったとの考え方もあるが、介護予防とは、はつらつもミニデイも全く同じである。ミニデイでもはつらつでも良い、そういうところに集まっていただけの人を増やそうということが、ステップアップ元年としたわけである。ミニデイは現在も増加中で、サロン林里や、らくらくサロンを加えればさらに大勢になる。当初、議員の皆様から

の提案で始めたミニデイだが、はつらつとのすみ分けをし、利用者を増やしていきたい。**質問** ミニデイと、はつらつを一緒にしてはいけない、目的が違う。はつらつは二次予防で水際作戦とも言え、どうやって介護状態を回復させていくかであって一緒にすべきではない。



「はつらつ」で、クイズに熱中

村長は村全般を見ていく立場にあるが、もう少し健康、介護、福祉の方面にも顔を向けていただきたい。担当課長についても、もう少し力をいれてもらいたい。一人のできることは限界があるので人材育成も考えられたい。

子どもの勤労体験の機会は

答 福祉体験や職場体験をやっている



大原千賀子議員

質問 豊丘村へは他県から毎年、子どもたちが勤労体験に来ている。以前は豊丘の子どもたちも勤労体験で農家のお手伝いをしていたと思う。「他人の飯を食う」という言葉がある。勤労体験や、ゴミゼロ運動等で地域を知り、働くことで気遣い、空気を読める人になると思う。現在の学校の様子はどうか。また富士市の子どもたちは帰ってから、どのように変わったか。

教育長 豊丘の子どもたちは2年前から勤労体験はしていない、今は中学生がキャリア教育として3年生が職場体験、2年生は福祉体験をしている。大リーグのイチロー選手がプロ野球選手になって、みんなを楽しませるといふ、自分の役割に気付いた。家のお手伝いをしたり自分の役割に気付いて欲しい。豊丘

子どもたちにも農家体験をさせたいし、キャリア教育の必要性も高まっている。富士市の子どもたちは今年で29周年になる。20周年記念

誌に「荒れていた生徒たちが勤労体験で豊丘の素晴らしさ、農家の方々の温かさにつれ、健全な学校になった」とある。

通学合宿の今後は

答 来年以降も続ける

質問 慈恵園での通学合宿の状況、様子はどうか。今後の予定はどうか。

教育長 小学4年生を対象に、本村の宝であ

る慈恵園にお世話になった。親御さんも心配されていたが子どもたちは生き生きとしていた。来年以降も続けたい。



親・子ともに成長した通学合宿

日赤奉仕団員の減少対策は 答 団員確保策を検討する

質問 竜巻、異常気象、南海トラフ地震等、地域での助け合いの必要がある。現在の日赤の状況と、団員が減少した原因は。

住民課長 昨年より35人減少。高齢化、勤務、三役が出来ない等の理由で、田村区が減った。

質問 男性も良いので、消防と同じと認識し、三役の役割も見直す必要があるのでは。役場職員や奥さんはぜひ団員に。

村長 団員が減った事は残念、これ以上減らない方策を検討する。



日赤奉仕団員の活動

社会教育施設の管理・運営方法は

答 業務委託を考えている



酒井浩文議員



工事が始まった社会教育施設

質問 豊丘村が目指す社会教育テーマの中で、社会教育施設をどのように活用していくか。施設にどのような効果を期待し、どのような村の未来像を描いているか。

村長 豊かで充実した人生を送るには、新たな知識や技術の習得の場が必要、この中心的な役割を担うのが公民館であり、ニーズにあった学習機会の提供が役割である。新しい施設は、利用者が快適に、活発に活動する場となることを期待している。若い人たちが集える場所となる施策、運営も大切であり、元気な地域づくり、村づくりにつながると信じている。

教育長 若者のニーズを取り入れて、新しいグループ等が活発に活動し、豊かな村民づくりの礎になることを期待している。新図書館にはサロン機能も取り入れている。みんなが集える場をつくり、故郷を愛する輝く人づくりを進めていきたい。

質問 完成後は施設機能を最大限に活かし、利用者に喜ばれるサービスを提供など、ソフト面の充実が必要である。施設の規模、機能面から指定管理制度を採用したらどうかと考えるが、今後の管理運営方法をどのように考えているか。

教委事務局長 指定管理制度は管理運営権限を委任するため、サービスの向上やコスト削減が期待できる反面、管理運営責任による問題も懸念される。よって現在同様の、夜間・休日管理の業務委託を考えている。新施設は現在より身近な施設になるので、図書館など、専門性や効果面からサービスの向上につながるような、地域を巻き込んだソフト面の充実が重要であり、今後検討していく。

現図書館の後利用方法は

答 子育て支援センターとボランティアセンターに改修し活用

質問 現図書館の後利用方法をどのように検討しているか。立地的な不都合はないか。改修する場合、どのような機能、どの程度の予算を計画しているか。

住民課長 改修し機能を变えて、子育て支援センターとボランティアセンターとしての活用を検討している。新施設との間隔が43mのため、冬は日当たりがあまり良くないが夏は涼しい。子育て支援センターは、子育て支援の拠点として子育て支援員が常駐し、子育て相談や子育てサロンの場として、ボランティアセンターはボランティア

アの拠点としてボランティアコーナー、打ち合わせや交流、軽作業の場として活用する。改修事業費1千万円、内1/2県補助金を26年度事業として見込んでいる。

「はつらつ」の今後の位置づけは

答 介護予防拠点施設として重みをつける

井原康明議員



質問 介護予防施設「はつらつ」が開設され数年が経過したが、平成19年と20年（3036人）の利用をピークに、年々利用者が減少傾向の報告が出ている。原因は特定出来ないが、地域ミニデイの拡充により影響が出ているのではないかと。住民課長 昨年からスタートした地域ミニデイに関し、PR不足もあり利用者さんが少し混乱した面があった。

質問 「はつらつ」は、介護予防拠点施設として設備も充実しており、地域ミニデイとは内容的に異なる事業の性質をもっていると思われるが、今後の位置づけをどの様に考えるか。住民課長 一次予防対策の地域ミニデイと二次予防対策の「はつらつ」との役割分担を明確にしながら力を入れて行く。



介護予防期待の「はつらつ」

副村長 「はつらつ」は要介護にならない為の施設であり、二次予防の施設として今後とも社協とも協力をして存続を図る。

質問 社協の事業によって発生する効果や成果の意味が現れるように、担当課と社協との連携や協力体制をどう考えるか。

住民課長 現在月1回の定例協議を実施しているが今後は職員同士の協力も進め、事業内容も改善を図りながら新しいメニューなども取り入れて、目に見えるような体制づくりを目指す。

「愛のかけはし要綱」の見直しは 答 早急に見直しを図る

質問 現在平成20年にできた要綱で、若者の結婚を支援する「愛のかけはし」という要綱が存在するが、内容的に現在の人口増や、高齢者同士の結婚などには内容がマッチしていないのではないかと。住民課長 人口増は決して若者のみではなく、幅広い年齢層にも該当する。

質問 結婚（成婚）の仲介者に報奨金が支給される制度でもあるが、



婚活の中心 役場横の「愛ネット」

この要綱は、報奨金の需給対象は成婚の時の条件で年齢規定がある。45歳以上の方同士で成婚しても仲介者への報奨金支給は該当せず、若者と高齢者との差別的な内容とも取れる、この年齢制限を廃止できないか。

村長 指摘の通りと思っている、早急に外す方向で検討する。

要望 婚活支援者は「愛ネット北部」を除いて、結婚相談員とし

て約10名程いる。その他に個人的にお世話をしている方が村内にも居ると聞く、それぞれ長年努力はしているがなかなか成果が出ないのが現状。結婚相談は年齢の高い方も対象なので現在の若者支援の要綱の趣旨内容でなくすべての方が対象になるよう、また人口増の意味も含めた趣旨内容の検討をお願いする。この変更により、個人的にお世話した方や、相談員の努力も報われると思う。

保育所へのクーラー設置は

答 場所を精査し検討する

片桐眞理子議員



猛暑に負けない子どもたち

質問 30度以上の猛暑日が続いた今夏であった。年々猛暑との戦いは続くのではないかと懸念される。高齢者等への予防の啓発、喚起はどうされているか。

質問 体温調節が未発達な未満児は、自分から水分補給や体調不良を訴えるのが難しい。風通しの悪い部屋もあると聞いているが、クーラーの設置についての

村長 来年度、付ける場所を精査する中で設置について検討する。

質問 水道水の水压を利用して気化熱で周囲の温度を下げるミストシャワー。設置費用も安価で子どもたちにも好評と聞く。設置について研究検討をお願いしたい。

保育所長 研究した上で導入の是非を考える。

質問 小中学校での猛暑対策の現状は。

教育長 扇風機はすべての教室に設置している。クーラーは保健室音楽室に入っていて他町村と比べると早い方だ。今後猛暑日が増えればクーラー、ミストシャワー等研究していく必要がある。プールサイドは裸足で歩けず断熱マットを敷いている状況である。

土曜日を活用した授業は

答 様々な意見や課題がある

質問 子どもたちが家庭や地域で過ごす時間を増やすという事で始めた学校週5日制であるが、必ずしも有意義に過ごせない子どもたちもいる。全国では月に1回程度、小中学校で土曜日の授業を実施している所もある。文科省では26年度概要要求に土曜授業の推進に

教育長 学校現場では時間的余裕がなくなる等、この改革には様々な意見や課題がある。本当の子どものための改革になるかという視点で見えていく必要がある。



帰宅途中のおしゃべりも大事

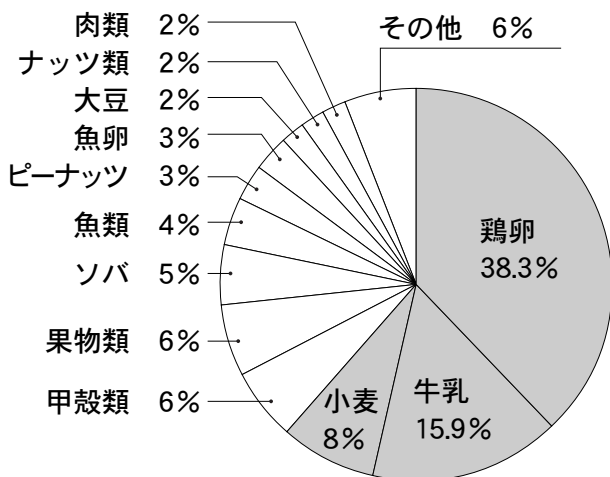
子どもの食物アレルギー対策は

答 危機管理マニュアルで対応



前沢光昭議員

アレルギーを起こしやすい食品



「食物アレルギー診療ガイドライン2012」
(日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会)より引用

質問 子どもの食物アレルギーが近年増加している。昨年東京の小学校でアナフィラキシーショックと思われる症状で死亡する事故が起きた。国はこの事を重視して全国の小中学校への対応を求めた。

① 豊丘村での現在対象者はどのくらいか。

② 豊丘村での現在の対応は。

③ ショックを起こしたときの対応はどうか。

教育長 長野県教育委員会でも適切な対応を取るよう通達が来たので改めて対応を見直した。

① 状況は北小学校が4名果物類、魚介類、牛乳や小麦、蕎麦など。南小学校は24名で内容は北小と同様。中学校で11名、内容は小学校と同様であるが、野菜アレルギーもいる。

② 一人ひとりの状況を把握している。

③ 危機管理マニュアル

で対応している。まず医者に連絡ということだろうが、現在注射等は準備してないが今後必要になれば常備することも必要と考える。

もしもの場合医者が来るまで間に合わない可能性もある。医師法もクリアしているので常備し、先生等の対応も必要になってくる。



安全な給食を楽しむ子どもたち

大人の風疹予防接種に補助を

答 今後の推移を見極める

質問 今年に入り風疹の大流行が伝えられ、過去最高との報道もある。今の20〜40才代は予防接種を受けてないか、受けていても免疫がない人が多い。大人がかかる大変で、とりわけ妊婦がかかる障害をもった子どもが

生まれる可能性が高い。妊婦が受けていても配偶者がかかれば意味がない。周知の意味も含め予防接種に補助が必要ではないか。予算は豊丘村の規模なら数十万円で済む。

住民課長 現在の予防接種は推奨して受けて

もらっている。広報等で予防法や抗体検査、受診の相談をしている。村長 成人の場合、気がつかずに感染することもあると聞く。今後の推移がどうなるのかを見極めて検討していきたい。

国保税課税方式の改善を

答 広域化の流れもあり、誰もが納得できる方式を

唐澤啓六議員



質問 本村の国保税はここ数年間値上げが連続し、被保険者が税負担に苦しんでいる。

当村の国保税は、所得比例部分45%であり、100%所得比例の保険料となっている被用者保険とは、課税方式において大きな違いがある。

とりわけ、資産への課税は低所得者にとって応益割部分に適用されている軽減措置がなく、負担増の一因になっている。

資産割課税をしていない保険者は全国には都市部を中心に多くあり、後期高齢者医療でも資産への課税はしていない。

資産割の賦課構成割合を毎年徐々に下げ、将来全廃を目指すこと。

また、その際応益割部分については、現状より多くしないことが必要と考えるが。

国保税(料)の賦課方

式についての全国及び県内の状況についても伺う。

住民課長 県内で資産割賦課をしていない市町村は77市町村中3市である。全国では約30%の区市町村が資産に賦課をしていない。

村長 資産への課税が国保の中でどういう背景で出てきたのかは承知していないが、多分(資産を)持つものが余分に出せということだと思う。

現在では、資産が利益を生み出さないことが多々あるということ、指摘は良くわかる。時代に合うようにしていくことは大事なことでと思うが、国保制度も県一本での広域化の流れもあり、誰もが納得できるものにしていきたい。

介護保険利用料の引き上げはどう考える

答 持続可能な制度維持のため仕方ない

質問 社会保障制度改訂国民会議の報告書は、社会保障の全分野にわたって、制度内容を後退させる一方、負担は増大と国民生活にとって厳しい内容となっている。

そこで介護分野の中で次の2点についての見解を伺う。

- (1) 利用料負担を2015年度より1割から2割へ引き上げることにについて
- (2) 特養への入所対象者を介護度3以上に限定することについて

村長 (1) 将来、持続可能な社会保障制度と我が国の財政を考えた時、ある程度以上の年収の方の2割負担は仕方ないと考えます。

(2) 介護度のみでなく、その人の状況を見る中で必要度による優先順位が高まる方もいると思うのでそのようなものをしっかり見る中で正しい判断をすべきと考えます。

特養「はやしの杜」の入所については、介護度と優先入所のバランスを公平な目でみて判断していく。



デイサービスの送迎風景

ふるさと大使を拡充した定住対策は

答 村出身者の人脈等の活用を進める



松下 亨議員



ふるさと大使でご活躍中の丸山克俊教授

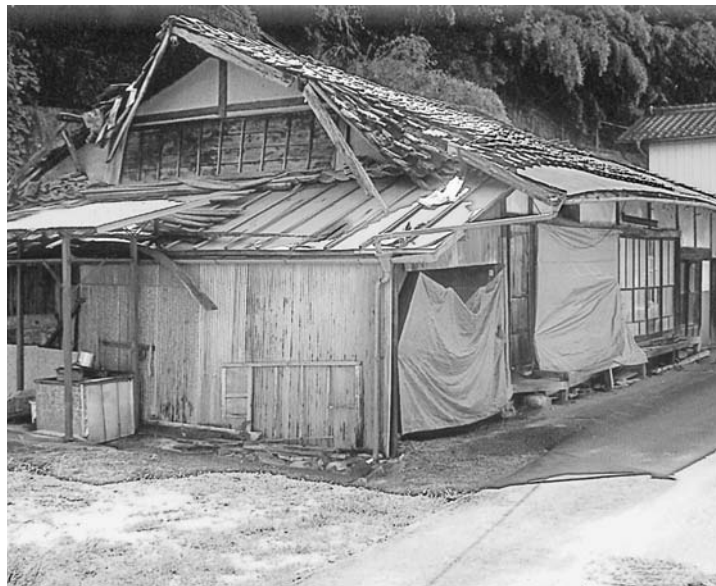
質問 リニア新幹線の中間駅やルートがもうすぐ発表され、新しい時代が現実となる。そこでリニア時代に向けて企業・移住者の呼び込みについて、村独自の施策は何か。

村長 企業誘致については残念ながら特別なものは無い。人口増対策は、戸建て住宅の建設や住宅・土地取得に対する最高140万円の助成金があり、注目を浴びている。

質問 現在、丸山克俊先生に「ふるさと大使」

をお願いして四季大学の講師を担っていただいているが、この「ふるさと大使」制度を拡充することは考えないか。豊丘出身者の人脈や「つて」を総活用すれば、多くの企業や人材との繋がりができ、移住者が見込まれる。

村長 関東豊丘会などでは皆さんが田舎のことを思ってくれている。いろんな才能をお持ちの方がいる。彼らを使ったり、彼らの人脈を使わない手はない。この取組みを進めたい。



増えている空家・廃屋

空家問題、国も法制化の動きがあるが…

答 国の動向をみて早期に条例化すべき

質問 リニア時代に向け昔ながらの原風景を取り戻す施策のひとつ、景観阻害と危険性はらむ喫緊課題の廃屋対策について伺う。現在の検討状況と今後の対策は。

環境課長 現在、税務係で全棟調査の最中で、同時に区・自治会に調査依頼が必要な課題。仮に条例を作ってもすべて解決することにならない。国会においても議員立法で法制化を

考えており、成り行きを注目していきたい。

質問 飯田市では3月議会で「25年度中には条例化をすることになったが、国で法令化する動きがあり、これを見極めて条例を作ることになっている。そこで村長としてはどう考えているか。

村長 豊丘でもあちこちに空家が見える。条例を作っても民法など上位法があり、すぐに解決できるものではない。国の様子を見ながら早期に条例を作るべきと考えている。



発生土と水の問題が最大課題

……リニア特別委員会の活動報告……

リニア特別委員長 酒井浩文

リニア準備書を公表 ルートが明らかに

9月18日、JR東海はリニア中央新幹線の環境影響評価準備書を公表しました。準備書はルートの詳細や中間駅の位置、環境アセスメントの結果を記したもので、20日から役場内での縦覧と、JR東海

のホームページでの公開が始まりました。村内のルートを要約すると、大鹿村境からトンネルで西南西方向に進み、福島地区付近でほぼ西に方向を変え、村道壬生沢線南入付近でトンネルを抜け地上部となり、壬生沢川を越えて喬木村へ抜けるルートで、通過延長約10キロのほとんどがトンネルとなります。またトンネル坑口上段の柏原地区には変電施設が、戸中、坂島地区の2か所には非常口（作

準備書公表後の 対応を検討

9月24日、準備書発表後初のリニア特別委員会では、準備書で明らかになった情報を基に課題を出し合い、準備書に対する意見書を議会として集約し、JR東海に送る方針を確認しました。

リニア特別委員会は、役場リニア対策室と連携し、住民の生活や環境への影響を少なくする方法を検討し、情報の共有に努めています。

- ① 発生土と道路の問題
- ② 水の問題
- ③ 総合的な問題

の3つの各課題についてグループで検討し、意見書としてまとめる計画です。また村内で



壬生沢のトンネル坑口予定地を視察

村内ルート、 施設予定地を視察

9月26日、トンネル坑口周辺と変電施設予定地、水源への影響予想地域や発生土運搬予想道路の状況視察を、役場リニア対策室と合同で行いました。準備書を基に、予定ルート上にイメージを描きながら生活や環境への影響を予想しました。

視察後の意見交換ではトンネル掘削の発生土の処理

施設後の位置や既存道路の安全対策等、現地を見た上での新たな問題も多く出されました。また水の影響についても、地下をトンネルが通過する福島区では湧水の影響が改めて浮き彫りとなり、今議会において可決された村独自の調査（補正予算200万円）による今後のデータの蓄積が注目されます。



柏原の変電施設予定地を視察

だより

総務産建委員会

歩き、見て、次に活かす

総務産建委員長 松村 正三

25年度も早6ヶ月を経過し、今やリニア中央新幹線のルート決定を受けて、その対応について調査、研究、検討など、議会内でもその動きが日に日に増してきております。

総務産建委員会に係わる部分も多々ありますが、リニア特別委員会が所管し、必要があれば当委員会での対応もあり得るといふ点だけ、ご理解をいただきたいと思ひます。

さて、常日頃、当委員会は、外に出ることを心掛け、現場を中心に村内各所の日常、開発、再生、維持、荒廃など目で見ることにより、今後に活きる取り組みとなるよう委員各々が努力をしております。

す。

予算付けをした現場は、できる限り廻り、施工前、施工中、施工後の時を選ぶことなく視察をし、最終的にはその効果の検証へとつなげ、決算や次の予算審査につながる活動をしていきます。

なお、今年度前半の主な事業の進捗等は、写真の通りです。

25年度は 16戸の建築予定

(写真はいずれも10月6日現在)



大柏 3戸造成完了



中部三 3戸建築中

戸建住宅16戸 建築急ピッチに進む



八王子 3戸建築開始



八王子 ミヤマブローラー跡地取り付け道路の新設進む

委員会

社会文教委員会

「決算」2日間にわたる委員会審査

社会文教委員長 片桐 義憲

9月議会は平成24年度豊丘村決算認定が主なものでありました。

本委員会では、2日間、決算委員会から再

付託された所管事項の審査を村からの説明を受けた後、質疑や意見を中心に審査しました。その内容は後日開かれた決算委員会で報告されました。

決算審査においては、委員会でも、予算どおり執行されたかどうか、チェック機能としても重要であり、その成果を生かして次年度の予算にも反映させることを第一の目的としました。

質疑や意見の詳細につきましては、決算委員会の質疑ページに記載されております。

これらの審査結果をふまえ、今後の社会文教行政、予算審議に反

映させていきたいと思っております。

子育て、保育、教育

村の体制に大きな変革

来春の新しい社会教育施設の完成を期に、総合型子育て支援教育の体制の見直し強化が進められています。

保育所から小中学校の一貫した子育て教育の組織整備について、

教育委員会と住民課、保育所の間で話し合い、調整が進んでおります。

これまで住民課所管であった子育て支援事業や3保育所の管理運営を、教育委員会の傘下に置くものです。教育委員会は、これまで

行われてきた社会教育、学校教育の分野に加えて、子育て支援や保育所運営を所管することとなりますので、今後充分な論議が必要となります。

村の保育、教育体制の大きな変革です。委員会としても、村民の皆様への不安の払拭を第一に考え、今後の動向に注視し、提言してまいります。



完成が待たれる社会教育施設（完成予想図）

訂正とお詫び

議会だより第62号（6月定例会）内、20ページの委員会だよりの見出し及び本文中、「年金の2.5%削減を求める請願」とありますが、正しくは「年金の2.5%削減の中止を求める請願」です。訂正しお詫び申し上げます。

